

# FMアップルウェーブ 第109回放送番組審議会

開催日時	平成30年4月28日(土) 12:00~13:00
開催場所	土手町コミュニティパーク地域交流室(弘前市土手町)
出席委員	委員長 石岡 徹、副委員長 鳴海 清彦 委員 佐藤 浩之、高村 智子、太田 眞理子、大西 晶子、檜山 史子
会社側出席者	代表取締役社長:清藤 哲夫、専務取締役:一戸 勝美、 放送部統括マネージャー:花田 由香子、チーフ:玉田 雅規
議題	(1)番組に対する意見要望 (2)次回開催日について 6月23日(土)
議事の概要	<p>○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。</p> <p>1) 課題番組 自殺防止対策啓蒙番組『いのちによりそうゲートキーパー』</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 非常に良い番組。ぜひ継続してほしい。ボランティア支援センターの小田切さんからの話をパーソナリティがうまく引き出していた。聴いているうちに暗い気持ちになってしまった。小田切さんが体験者の目線で話しているため沈んでしまうのであれば、そうならない工夫がほしい。</li><li>② わかりやすい。パーソナリティが最後に加えるまとめが効いている。傾聴に対してハードルが高いイメージだったが、特別なものではなく、自分でもできるかもしれないと前向きな気持ちになった。自殺を考える子どもたちに居場所がある、ということを大人が伝えていければいいなと感じた。</li><li>③ 傾聴に興味があったので、メモをとりながら聴きたい番組。傾聴のテクニックひとつひとつの紹介があつてよかった。あまり関心のない人にも響く内容になっていた。</li><li>④ 自分や人の気持ちに気づくことができる番組。継続してほしい。わかっていたけどできていないことに気が付いた。何かに気が付ききっかけになるような番組がFM放送で押しつけがましくなく流れているのが良い。</li><li>⑤ 聴く層が増えてほしい番組。子どもだけでなく大人にもある問題。難しいテクニックもあったが、そうでないものもある。多くの人に知ってほしい。プロの話が難しい部分があったが、パーソナリティがまとめたのがとても分かりやすかった。</li><li>⑥ 青森県や秋田県の自殺が多く、なかなか無くならない。地域社会が安心できる受け皿になっていないてはならない。誰にも相談できずにいる人に寄り添える番組。道徳も教科化していくなかで、考えていかなければならない話であった。</li><li>⑦ 参考になることが多く、素晴らしい番組。昔の圧力的な「指導」から「傾聴」のようなカウンセリングに学校では力を入れている。内容が濃く、1時間番組でも聴いていて疲れてしまう。合間に軽い音楽を挟んだり、30分を分けて放送するなどしても良かったのでは。</li></ol> <p>【審議機関の答申または改善】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・重いテーマでありながら街の人たちが自身の経験を語ってくれているのが良かった。街頭インタビューがあることで、多くの人が番組に参加しているのが良い。</li><li>・引き続き、自殺対策に関して考える番組を放送する。</li></ul> <p>【審議機関の答申または改善意見の公表】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 議事録を本社に配備し、社内各部署に配布</li><li>2) FMアップルウェーブのホームページに掲載</li></ol>